

名都借の木



2023年10月8日発行
発行者:流山市立木の図書館
(指定管理者:株式会社すばる)
住所:流山市名都借313-1
Tel: 04-7145-8000



2023年度読書週間 10/27-11/9

「私のペースで
しおりは進む」

今年の読書週間の標語は

「私のペースで しおりは進む」



です。作者の藤村伸子さんによれば、

「しおりがなかなか進まない本もあれば、一気に読んでしまう本もあり。読み終えればどちらも、充実感や感動を得ることができます。」

とのことです。



鈴木初奈さんによる
読書週間ポスター

自分のペースで歩く

絵本作家・園芸家として知られるターシャ・テューダー、ハーブ研究家として知られるベニシア・スタンリー・スミス、カトリックの修道女である渡辺和子は、人生の歩み方を考えるうえで大いに注目されました。

ほかにも人生を自分のペースで歩む人たちのエッセイなどを図書館で所蔵しています。みなさんが自分のペースで人生を歩むためのヒントになれば幸いです。



木の図書館で所蔵している、ターシャ・テューダー、ベニシア・スタンリー・スミス、渡辺和子の著作

日々の食事の作り方や味付けは、家族それぞれの人生の歩み方に少なからず影響を与えているかもしれません。

小林カツ代や栗原はるみなど、いろいろな料理研究家がそれぞれの時代にそれぞれの歩み方を提案してきました。

図書館に長年蓄積されてきた家庭料理の本からは、自分に合った歩み方、自分とは違う歩み方、それぞれについての発見があるかもしれません。



日々の食事やライフスタイルを提案している本は、おもに請求記号 590~599 にあります。

あなたに合った歩き方は?

いろいろな本を見てみたい、と思われている方には、作家や出版社が編纂したアンソロジーがおすすめです。

例えば「心に残る物語 日本文学秀作選」シリーズは1冊ごとに著名な作家が選んだ十数の中短編が、「本をめぐる物語」シリーズは読書雑誌に掲載された本にまつわる短編が集められたアンソロジーとなっています。

あなたのペースで、あなたが選んだ物語を歩いてみてください。

作家や出版社による
アンソロジー





アジアの作家の本



劉 慈欣／著
『三体』 (早川書房)

～ 物語のはじまり ～

話題の中国 SF や、書店に並ぶ韓国作家の本など、アジアで出版された新しい本が、木の図書館の書棚でもみなさまのご利用を待っています。

文化大革命から始まる

本書は、『三体』三部作の入口です。物語は、「極秘裏に進む、人類の運命を左右するかもしれないプロジェクト」から、「三つの太陽を持つ異星文明・三体の出現」、「地球文明を、はるかに超える技術を持つ侵略者に対抗する最後の希望」へと続きます。秋の夜長、大河のような物語にどっぷりつかってみませんか？



この本もおすすめてです！



呉 明益／著
『自転車泥棒』 (文藝春秋)



ソン ウォンピョン／著
『三十の反撃』 (祥伝社)



他にこんな本もあります！



映像化もされた韓国発の作品です。現代の韓国女性の人生に立ちはだかる困難や差別が描かれています。日本社会にも存在する空気感を、色々な世代の方に読んでいただきたいです。

チョ ナムジュ／著
『82 年生まれ、キム・ジヨン』 (ちくま文庫) (筑摩書房)



著者は、現代トルコを代表する作家であり、ノーベル文学賞受賞者です。

雪の降るトルコ北部の中核都市を、取材で訪れた詩人が、政治や宗教に影響を受けた人々に出会っていきます。

オルハン・パムク／著
『雪 (上・下) ハヤカワ epi 文庫』 (早川書房)

木の図書館 イベント情報

暑かった夏もようやく一息ついて、後回しにしていたことに、ようやく手がつけられる、そんな季節になってまいりました。今まで読んだ本、これから読みたい本を自分だけのノートに整理してみませんか？木の図書館では、「和綴じでつくる読書ノート」の講座を開催いたします。日時は10月21日(土)10時から11時半まで、場所は東部公民館となります。また、例年ご好評をいただいております「大人のためのおはなし会」も11月9日(木)10時から11時半まで、同じく東部公民館で開催予定です。詳細は広報や館内ポスターなど、ご覧ください。

みなさまのご参加を、お待ちしております。



子どもの木



はっぱ

今回は「はっぱ」をテーマに4冊ご紹介します。
読むとはっぱを探しにいきたくなるかも？



『おおばこ』
菅原 久夫／ぶん
白根 美代子／え
(福音館書店)

公園や学校、道ばたでみかける
おおばこ。どのようにして大きくなるのか見てみませんか？
遊び方ものっているので
やってみてね。



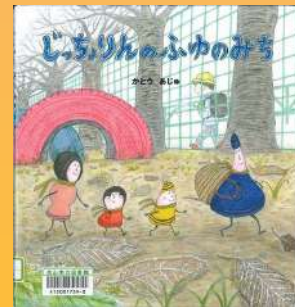
『ようこそ！葉っぱ科学館
—植物たちの声を聞く
たえこ先生のお！観察記—』
多田 多恵子／著
(少年写真新聞社)

葉っぱの「なぜ？」がいろいろわかる
本です。オジギソウにさわったり、
カタバミで10円玉をみがきたく
なったりするかも。



『さまざまな色と形
紅葉・落ち葉・冬芽の大研究
葉のひみつをさぐろう！』
星野 義延／監修
飯村 茂樹／写真
岡崎 務／文
(PHP 研究所)

紅葉は秋だけではなく！？
とはいっても、この時期にぜひよんで
ほしい1冊です。
公園や学校でみかけるはっぱの
ひみつを調べてみよう！



『じっちょりんのふゆのみち』
かとう あじゅ／作
(文溪堂)

冬じたくをするじっちょりん
かぞく。みちばたにハート型の
虫食いあとがあるはっぱを
見つけたらじっちょりんが
持って行ったのかも？



イベント情報

くわしくは、館内ポスターや広報、ホームページをご覧ください。



11月 5日 ゲームの日 vol. 3

11月18日 親子工作

12月16日 クリスマスおはなし会スペシャル



コーヒーフィルターで
花を折って加湿器を
作ります♪



これからの木の図書館

連絡先
木の図書館
電話:04-7145-8000

年末年始の閉館のお知らせ

流山市立図書館では、
12月29日(木)から1月4日(水)の間は、
休館となります。



郷土へのいざない vol. 37 ～旧水戸街道散歩 その2

小林一茶のよき理解者であり、また庇護者であったことでも知られている東葛地方の俳諧師、大川立砂(おおかわ りゅうさ)(?~1799年)の住まい跡である『栢日庵(はくじつあん)立砂(りゅうさ)の居宅跡』が「馬橋(まばし)」の近くに
あります。

本名を大川平右衛門(おおかわへいえもん)といい、現在の東京ベイ信用金庫馬橋支店のある場所で油問屋を営んでいた油屋油(ゆ)平(へい)です。

一茶が36歳のとき(寛政10年(1798年))、立砂と連れ立って万葉集で名高い真間(まま)の手古奈(てこな)の近くの弘法寺で詠んだ句があります。

夕暮れの頭巾へ拾う紅葉かな 立砂
紅葉はや爺はへし折子はひろふ 一茶
(爺は立砂で、子は一茶。二人の親愛の情がにじみ出ている)

同じく俳人であり流山で味醂を商う秋元双樹(あきもと そうじゅ)、本名秋元三左衛門(5代目)も小林一茶を支援していたことで知られています。

参考文献: 東葛流山研究 第27号『楽しい東葛ウォーク事典』
(流山市立博物館友の会事務局, 2009年)



10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

□ は休館日 ■ は17:00まで開館 ○ はおはなし会 □ はイベント
●●● はあかちゃんおはなし会

木の図書館カレンダー

休館日 月曜日(祝日の場合は火曜日)
月末日(土・日・祝日を除く)
年末年始(12/29~1/4)

開館時間 火曜日~土曜日 :9時30分~19時
日曜日、祝日 :9時30分~17時